

Makita

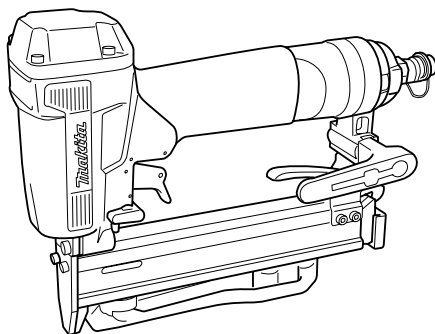
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

エアタッカ

4mm モデル **AT425A**

10mm モデル **AT1025A**



このたびは**エアタッカ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能 \ モデル	AT425A	AT1025A
使用空気圧力	0.39 ~ 0.69MPa (4 ~ 7 kgf/cm ²)	
使用ステーブル (mm)	13、16、19、22、25	13、16、19、22、25
ステーブル装てん数	100本	
質量	1.0kg	
本機寸法	長さ 253mm × 幅 51mm × 高さ 177mm	
使用ホース内径	φ 6.5mm 以上	

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 本機の取扱知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本機を使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してステーブル打ち作業をしてください。
 - ・ 装着しないと打ち損じのステーブルで目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
 - ・ ステーブルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. ステーブル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
6. 本機に刻印や溶接等の改造をしないでください。
 - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
 - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は 0.39 ~ 0.69 MPa (4 ~ 7 kgf/cm²) の範囲内で使用してください。
 - ・ 高過ぎる圧力は、本機損傷による事故の原因になります。
9. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
 - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
10. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
 - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
11. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
 - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
12. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
 - ・ 打ち損じのステーブルがあたりけがをする原因となります。

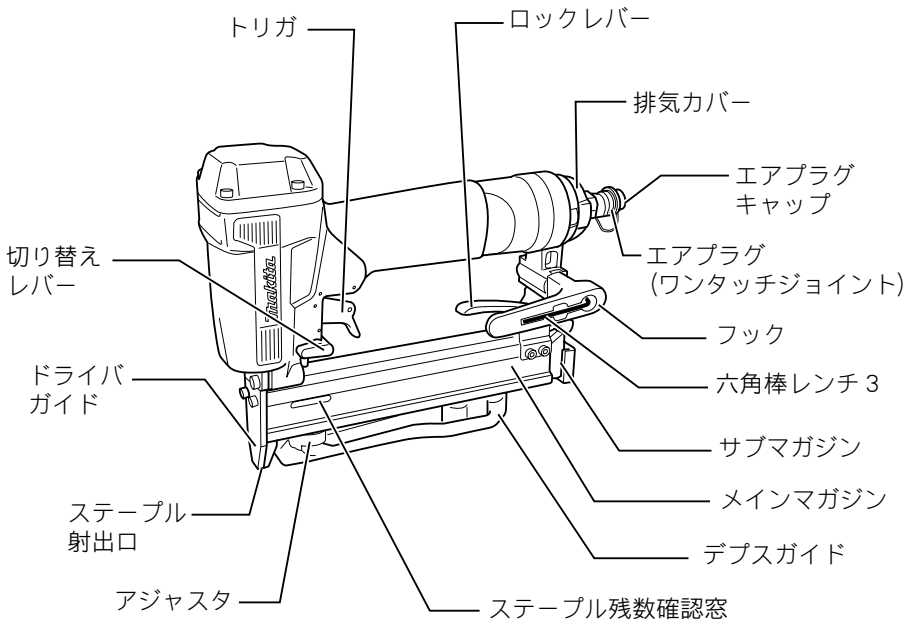
⚠ 警告

13. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
 - ・ ステープルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
14. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
 - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
15. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
16. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
17. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
 - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
18. 次の場合は、本機からエアホースをはずしてください。
 - ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - ステープルを装てんする場合、また取り出す場合。
 - 作業中、本機を持って移動する場合。

⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
 - ・ 不完全な本機を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・ 確実に当てていないと、ステーブルがはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、本機に顔などを近づけないでください。
 - ・ ステーブルの上や木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に本機の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 本機及びコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・ 本機及びタンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 本機の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店または裏表紙掲載の当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ 油サシ (タービン油 JIS 2 種 ISO VG32)
- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 六角棒レンチ 3 (本機取付)
- ・ プラスチックケース (モデル AT425AK, AT1025AK のみ)

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ エアホース 30m
部品番号 A-33342
- ・ 一般圧タフリール 30m
部品番号 A-49236
部品番号 A-49258 (本体のみ、ホース不付)
- ・ スプレーオイル
部品番号 A-46121

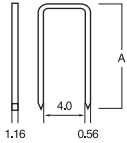


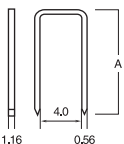
- ・ プラスチックケース
部品番号 824566-4



別販売品のご紹介

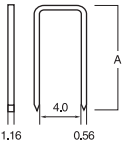
・ ステープル

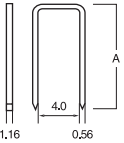
種類	ステープル (幅 4mm)				
材質	鉄				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80024	F-80037	F-80040	F-80053	F-80066
形式	413J	416J	419J	422J	425J
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT425A				

種類	ステープル (幅 4mm)			
材質	鉄 (白)			
形状				
A (長さ mm)	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80079	F-80082	F-80095	F-80101
形式	416J 白	419J 白	422J 白	425J 白
連結本数 (本)	100			
1 ケース入数 (本)	5,000			
適用モデル	AT425A			

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。

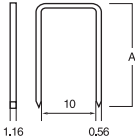
別販売品のご紹介

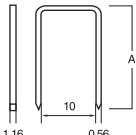
種類	ステープル (幅 4mm)				
材質	ステンレス				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80442	F-80114	F-80127	F-80130	F-80143
形式	413JS	416JS	419JS	422JS	425JS
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT425A				

種類	ステープル (幅 4mm)		
材質	ステンレス (白)		
形状			
A (長さ mm)	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80156	F-80169	F-80172
形式	419JS 白	422JS 白	425JS 白
連結本数 (本)	100		
1 ケース入数 (本)	5,000		
適用モデル	AT425A		

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。

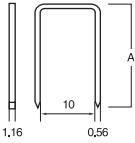
別販売品のご紹介

種類	ステープル (幅 10mm)				
材質	鉄				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80262	F-80275	F-80288	F-80291	F-80307
形式	1013J	1016J	1019J	1022J	1025J
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT1025A				

種類	ステープル (幅 10mm)		
材質	鉄 (白)		
形状			
A (長さ mm)	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80455	F-80468	F-80471
形式	1019J 白	1022J 白	1025J 白
連結本数 (本)	100		
1 ケース入数 (本)	5,000		
適用モデル	AT1025A		

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。

別販売品のご紹介

種類	ステーブル (幅 10mm)				
材質	ステンレス				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80310	F-80323	F-80336	F-80349	F-80352
形式	1013JS	1016JS	1019JS	1022JS	1025JS
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT1025A				

★印のステーブルは石こうボード等の軟質材料用。

使い方

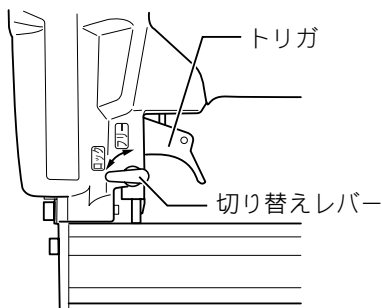
トリガロック装置

⚠ 警告

ステーブルを打つ時以外は、必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

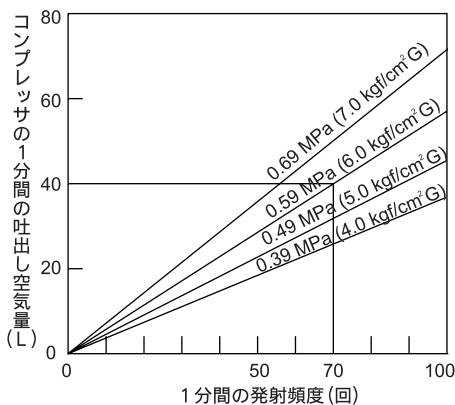
- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ 本機はトリガロック装置を装備しています。切り替えレバーをロック（固定）の位置に合わせれば、トリガをロックすることができます。このとき切り替えレバーが確実にセットされていることを確認してください。



コンプレッサの選定について

- ・ 本機を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。
- ・ 右図は本機での発射頻度、レギュレータ（減圧弁）の打ち込み深さ調整とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が 0.59MPa (6.0kgf/cm²G) で、発射頻度が 1 分間に約 70 回ですと、吐出し空気量 40L/min (L/分) 以上のコンプレッサが必要です。



エアホースの選定について

- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。
※ 内径 φ6.5mm 以上、長さ 30m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

注

- ・ ステーブルの発射頻度にくらべコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いが、長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

使い方

コンプレッサ・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンク内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本機的能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアホースは熱(60℃以上)、薬品(シンナー、強酸、強アルカリなど)および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

ステーブルの装てんについて

⚠ 警告

ステーブルを装てんする場合は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

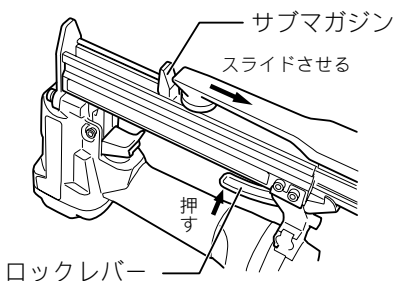
- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

⚠ 注意

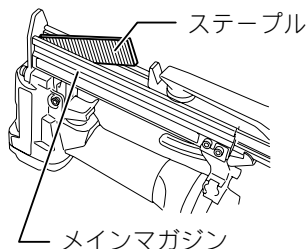
ステーブルを装てんした状態でサブマガジンを不用意に開かないでください。

- ・ 特に高所での作業時にステーブルが落下すると事故の原因になります。

- ・ ロックレバーを押してサブマガジンを後方へスライドさせて開いてください。



- ・ 次にステーブルの足を上にして、メインマガジンに入れてください。
- ・ サブマガジンを元に戻し、ロックレバーを掛けてください。



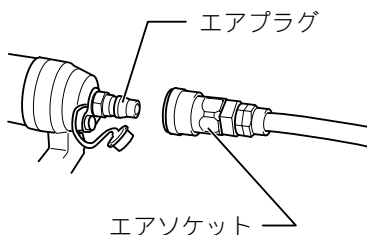
注

- ・ 指定以外のステーブルを使用しないでください。ステーブルやステーブルの連結が変形したものは使用しないでください。マガジン内に異なるサイズのステーブルを同時に装てんしないでください。
- ・ ステーブルづまり、故障の原因になります。

使い方

エアホースの接続

- ・ トリガをロックし、本機のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。



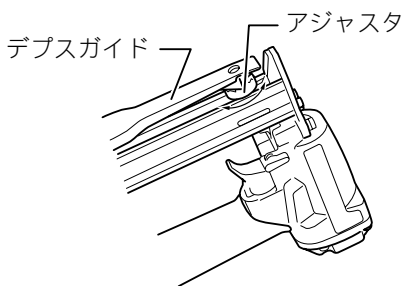
ステーブルの打ち込み深さの調整について

⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

- ・ アジャスタを回転させると、デプスガイドの高さが 5 段階に変わりますので、ステーブルの打ち込み具合をワンタッチで調整できます。1 段階で約 0.6mm の調整が行えます。



使い方

空打ち防止機構について

⚠ 警告

サブマガジンを開くと空打ち防止機構が解除されますので、必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

・ 誤って空打ちした場合に事故の原因になります。

- ・ 本機はマガジン内のステープルが無くなると空打ち防止機構が作動してトリガが引けなくなり、空打ちを防止します。

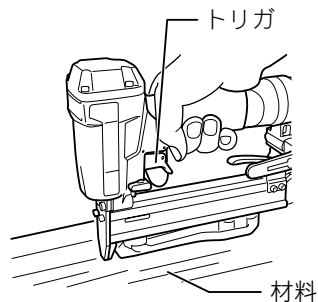
打ち込み方法について

⚠ 警告

必ず射出口を材料に当ててトリガを引いてください。

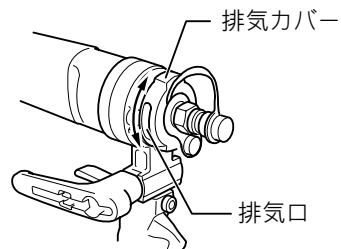
・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

- ・ 射出口を材料に当て、トリガを引いてください。ステープルが打ち込まれます。



排気の方法について

- ・ 排気の方法は排気カバーを手で回すことにより、360度回転できます。



使い方

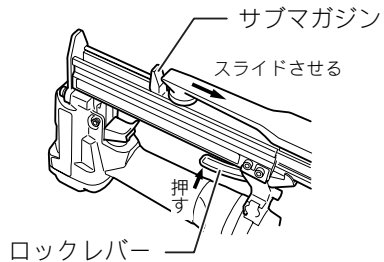
ステーブル詰まりの直し方

⚠ 警告

作業に入る前に必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

- ・ ロックレバーを押してサブマガジンを後方へスライドさせて開いてください。射出口が露出しますのでつまったステーブルを取り除いてください。

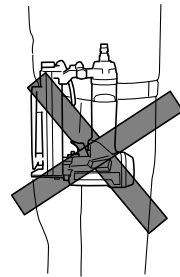


フックについて

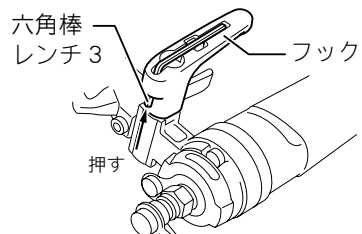
⚠ 警告

フックを使用する場合は必ずトリガをロックし、本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
- フックを腰のベルトなどにかけないでください。
- ・ フックがはずれて本機が落下した場合、事故の原因になります。
- フックの取り付けネジは、確実に締め付けてください。
- ・ フックがはずれて本機が落下したり、事故の原因になります。



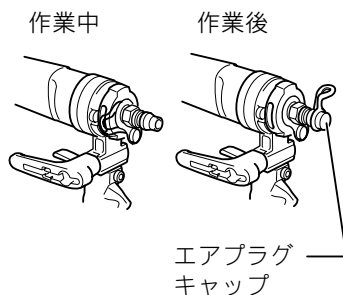
- ・ フックを利用すれば本機を一時引っかけておくのに便利です。本機に取り付けてあるフックは左右どちらにも取り付けることができます。
- ・ 六角棒レンチ3は短い方の先端を押し、フックからはずしてください。



保守・点検について

作業後の保管

- ・ 本機内にごみやほこりなどが入ると故障の原因になります。
- ・ 使用しないときには、エアホースをはずし、エアプラグにエアプラグキャップをしてください。
- ・ 作業後は防錆のためエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してから数回発射してください。
- ・ 湿気の多い所、直射日光の当たる所、粉じんの多い所は避けて保管してください。



純正オイルの使用

- ・ オイルは純正のオイルを必ず使用してください。作業終了後、これを行うことにより最良の状態を保つことができます。エアプラグより付属のタービン油を数滴注油してください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6746) 7220
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6746) 7220
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	奈良営業所	(0742) (61) 6484
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	橿原営業所	(0744) (22) 2061
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	和歌山営業所	(073) (471) 4585
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	田辺営業所	(0739) (25) 1027
				沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	姫路営業所	(079) (281) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001		
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島営業所	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	福山営業所	(084) (923) 0960
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	三原営業所	(0848) (64) 4850
		甲府営業所	(055) (276) 7212	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	徳山営業所	(0834) (21) 5583
長岡営業所	(0258) (30) 5530	七尾営業所	(0767) (52) 3533	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
山形営業所	(023) (643) 5225	富山営業所	(076) (451) 6260	松江営業所	(0852) (21) 0538
酒田営業所	(0234) (26) 3551	高岡営業所	(0766) (21) 3177	高松支店	(087) (867) 6411
秋田営業所	(018) (863) 5205	福井営業所	(0776) (25) 1911	高松営業所	(087) (867) 6411
				徳島営業所	(088) (626) 0555
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	松山営業所	(089) (951) 7666
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
小山営業所	(0285) (25) 5559	多治見営業所	(0572) (22) 4921	高知営業所	(088) (884) 7811
水戸営業所	(029) (248) 2033	松本営業所	(0263) (85) 4751		
土浦営業所	(029) (821) 6086	長野営業所	(026) (225) 1022	福岡支店	(092) (411) 9201
		上田営業所	(0268) (22) 6362	福岡営業所	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (777) 4801	飯田営業所	(0265) (24) 1636	北九州営業所	(093) (551) 3481
さいたま営業所	(048) (777) 4801			飯塚営業所	(0948) (26) 3361
川越営業所	(049) (222) 2512	名古屋支店	(052) (419) 0561	久留米営業所	(0942) (43) 2441
熊谷営業所	(048) (521) 4647	名古屋営業所	(052) (419) 0561	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
越谷営業所	(048) (976) 6155	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	長崎営業所	(095) (882) 6112
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (72) 5150	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
高崎営業所	(027) (365) 3688	知多営業所	(0569) (48) 8470		
向毛営業所	(0276) (46) 7661	一宮営業所	(0586) (75) 5382	熊本支店	(096) (389) 4300
		東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	八代営業所	(0965) (43) 1000
千葉営業所	(043) (231) 5521	四日市営業所	(059) (351) 0727	大分営業所	(097) (567) 3320
市川営業所	(047) (328) 1554	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
成田営業所	(0476) (73) 8101			鹿児島営業所	(099) (267) 5234
木更津営業所	(0438) (23) 2908	京都支店	(075) (621) 1135	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
柏営業所	(04) (7175) 0411	京都営業所	(075) (621) 1135		
		福知山営業所	(0773) (23) 7733	関東物流センター	(048) (771) 3451
		大津営業所	(077) (545) 5594	関西物流センター	(0725) (46) 6715
		彦根営業所	(0749) (22) 6184		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881856C8